

研究会グループ：環境経営研究会

平成27年度活動報告及び平成28年度活動計画

担当幹事 長安 敏夫

環境経営研究会は相互研鑽を通じて環境経営の重要性・意義をより深く認識し、新年度中に研究会としての環境経営推進に関する見識を纏め、企業への支援方策を確立する。現在6名で活動を続けており、今後は環境経営の普及を目指すメンバーを迎え研究会の強化を図りたい。

1. 平成27年度活動報告

(1) 環境経営についての研修

中小企業の環境経営を支援できる実力をつけることを目標として研修を始めた。

- ・ 関東経済産業局発行の「(中小企業向け環境視点による)経営改善テクニック集」
「(中小企業向け)経営改善事例集」の学習
- ・ CSR レポート、環境報告書の事例研究

(2) CSR 報告書、環境報告書への第三者意見提供は実績がなかった

化学工学会第79年会で環境活動レポートの意義と当グループの支援活動などの紹介講演を社員が聴講されたD社より、第三者意見についての見積もり依頼があったが、競争見積もり(と思われる)の結果、某大学教授に依頼された。

世間一般に第三者意見を求める報告書が減少傾向にあり、環境経営研究会は引き続きこの活動を継続するものの、環境経営の研修を主体とすることとした。

2. 平成28年度活動計画(案)

(1) 1.(1)の継続実施

- ① 日経エコロジーの連載記事：「中小企業のための環境マネジメント」の学習
- ② ISO14001改定(2015年秋、11月にJIS版発行済)の学習
外部発信に繋がる成果を上げることを目指す

(2) 1.(2)の実現機会の増強に向けての活動実施

ホームページによる宣伝

CSR 報告書、環境報告書へのアンケート応募などを通じてのコミュニケーション
リスクセンス研究会への協力は個人単位の参加であるが、研究会としてこの情報を活用する。

(3) 研究会メンバー増強

ホームページでの募集、オブザーバー参加歓迎

以上